## 指定避難所

赤字の箇所は、1次避難所(災害対策詰所)です。災害時には優先して開設する避難所です。 その他の指定避難所は状況に応じて順次開設します。

<mark>甑島振興局・支所</mark>は避難情報の発令と同時に開設していますので、避難される場合は、ご連絡 ください。

**甑島振興局 ☎09969-2-0001 下甑支所 ☎09969-7-0311 本庁防災安全課 ☎0996-23-5111代** 

	地域	指定避難所		
次避難所	里	里公民館		
	上甑	上甑老人福祉センター		
	鹿島	鹿島公民館		
	下甑	下甑高齢者生活福祉センター(旧玉姫園)、片野浦地区緊急避難施設 長浜地区コミュニティセンター、瀬々野浦地区緊急避難施設 青瀬地区コミュニティセンター、内川内地区緊急避難施設		

_	地域	指定避難所			
一次避難所	里	村西集会所、薗下集会所			
	上甑	中野地区集会所、平良地区集会所、小島地区集会所			
	鹿島	小牟田集会所			
	下甑	子岳地区コミュニティセンター、手打小学校、長浜小学校			
		西山地区コミュニティセンター、かのこ幼稚園			
長	里	里小学校、里中学校			
	上甑	上甑地区コミュニティセンター、上甑中学校、中津小学校			
期		旧平良小学校屋内運動場、江石地区集会所、住民センター			
避		旧浦内小学校屋内運動場、瀬上地区集会所			
難	鹿島	鹿島小学校、鹿島サービスセンター			
所	下甑	住民生活センター(港公民館)、手打地区コミュニティセンター			
		本町集会所、旧子岳小学校屋内運動場、旧西山小学校屋内運動場			

※指定避難所は、お住まいの地区に関係なく、どの指定避難所でもご利用いただけます。

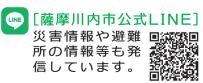
# 自治会避難所

#### ○自治会避難所とは

自治会から希望があった自治会館等を指定したもので、自治会員の避難希望があった場合に、 自治会長や自主防災組織の長等が開設し、自治会で避難所運営を行っていただく避難所です。

避自	地域	避難所			
難治所会	上甑	上甑江石体育館			
	下甑	瀬尾地区緊急避難施設、芦浜地区緊急避難施設 長浜地区緊急避難施設			

※表の指定避難所は、令和6年4月現在の指定避難所です。指定避難所の見直しにより、「薩摩川内市防災マップ (令和6年1月時点)」の表示と一部異なる地区があります。





バカン マップス [VACANMaps避難所情報]

避難所の開設状況や混雑・スペー 状況をリアルタイムで確 認することができます。



[薩摩川内市防災ホームページ] ハザードマップや市内 回流部回 の雨量情報など、防災 について情報を掲載し

# 津波に備えて

- ・震源が陸地に近い場合、津波の襲来が早く、津波警報発表が間に合わないことがあります。 「揺れたらすぐ避難」を徹底しましょう。
- ・津波は、沿岸の地形などの影響により局地的に予想より高くなる場合があります。より高い場所を 目指して避難しましょう。
- ・地震発生後、予想される津波の高さが20㎝未満で被害の心配がない場合、または津波注意報の 解除後も海面変動が継続する場合には、「津波予報(若干の海面変動)」を発表します。
- ◎津波警報・注意報は、津波による災害の発生が予想される時に、発表される重要な情報です。

红毛 坐五	予想される津波の高さ		レフゕキに動	
種類	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の 場合の表現	とるべき行動	
大津	<b>10 m 超</b> (10m<高さ)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台など安全な場所へ 避難してください。	
大津波警報	<b>10 m</b> (5m<高さ≦10m)		津波は繰り返して襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。	
報	<b>5m</b> (3m<高さ≦5m)		ここなら安心と思わず、よ	
警津 報波	<b>3m</b> (1m<高さ≦3m)	高い	り高い場所を目指して避難しましょう	
注意報	<b>1 m</b> (20 cm<高さ≦1m)	(表記しない)	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、 海岸から離れてください。 津波注意報が解除されるまで海に入ったり、 海岸に近づいたりしないでください。	

## 家庭内備蓄について

「食料や飲料水、乾電池、携帯電話・スマートフォンの充電器、 カセットコンロ、簡易トイレ等の家庭内備蓄を最低でも 3日分、可能な限り1週間分程度の準備」をお願いします。



#### 【無理なく・無駄なく備蓄するために】

1週間分の食料などを備蓄するのは大変です。 ローリングストック(下記の①~③参照)で備蓄品を 無理なく・無駄なく準備しましょう。

- ①普段使う食品の中で、保存期間の長いものを少し多め ◆に準備します。
- ②チェックリストなどを作成し、賞味期限の近づいた ↓ものから使いましょう。
- ③使ったものを買い足します。





## 避難を検討される市民の皆様へ

#### 【避難とは難を避けること、次のような避難も有効です】

- 〇安全な親戚・知人宅への避難
- 普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。
- ○安全な旅館、ホテルへの避難 通常の宿泊料が必要です。事前に予約、確認しておき ましょう。
- ○やむを得ず車中泊避難を希望される場合は、開設され ている避難所の駐車場が利用できますので、避難所の 受付に声かけををお願いします。
- ○車中泊避難は、エコノミークラス症候群を発症する 可能性がありますので、十分な水分補給と手足を 動かすなどの適度な運動が必要です。

## 強難所における基本的な衛生対策

#### 【避難をされた市民の皆様へ】

- O手洗い・咳エチケット・必要に 応じてマスク着用など。
- 〇発熱や咳などの症状がある場合 は、すぐに避難所の担当者に報告 してください。



### 避難する時の携行品(一例)□を準備状況のチェックに活用しましょう

- □貴重品(現金 10 円玉、預金通帳、印鑑、保険証、免許証など、またはコピーかメモを)
- □非常食品(飲料水、乾パン、缶詰、栄養補助食品、アメ、チョコレートなどそのまま食べられるものを)
- □避難用具(懐中電灯、携帯ラジオ、予備乾電池、ヘルメット・防災ずきん)□衣料品(下着、靴下、防寒具)
- □厚手の手袋 □毛布 □缶切り □歯ブラシ □ライター □ナイフ □携帯用トイレ □マスク □消毒用アルコール
- □体温計 □石けん □ウェットティッシュ □救急箱 □処方箋の控え □持病の薬 □生理用品 □携帯用カイロ